

日本語教育センター通信

第11号

第11回

関学日本語教育研究会報告

～2013年3月9日実施～



新任 日本語講師紹介



着任前は10年ほどアメリカ、フランス、オーストラリアの大学で日本語教育に関わっていました。日本の大学で久しぶりで、逆カルチャーショックの日々ですが、とにかく日本のご飯のおいしさに毎日感動しています。二度の食事と下手の横好きのサルサを生活の楽しみに、「笑い」と知的刺激、「ミニミニ」の形成を授業活動のモットーに頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



＜嶋ちはる先生＞



2013年3月9日に第11回日本語教育研究会を開催しました。2007年から2回行われていた研究会です。今回は、東京大学教養学部特任准教授のボイクマン総子先生に「聞く力」「話す力」を養成する「聞いて覚える話し方 日本語生中継」の作成意図と教育実践というテーマでの講演、日本語教育センター非常勤講師の陸山拓先生・手科美保先生に「聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編1」の実践例についての報告をしていただきました。日本語教育センターの日本語クラスでは、このテキストを用



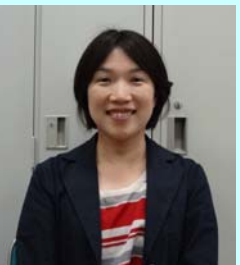
＜上:ボイクマン総子先生、下(左):手科美保先生、(右):陸山拓先生＞

いて会話・聴解の授業を行っています。授業での実践例報告後、著者であるボイクマン先生から直接授業に対するフィードバックがあり、質疑の時間には参加者から具体的な使い方への質問が多く出ました。今後の授業改善につながる有意義な研究会でした。

新設科目紹介 「日本語教育基礎」

「日本語教育基礎」は、外国人に日本語を教えたい人、日本語に興味のある人などを対象とした講義科目です。日本人学生だけでなく、日本語教師志望の学部留学生も履修中です。様々な学部・学年の学生がグループにわかれ日本語について考える授業をしており、受講生は自分とは異なる考え方を持つ人との意見交換を楽しんでいます。日本語の教科書を見て目的や対象者を考えたり、実際に学習者が受ける試験の問題を解いたりしながら、普段意識していなかった日本語の特徴や外国語としての日本語教育について学びます。毎年春学期・秋学期に開講予定です。日本語を教えることに興味のある人、留学を考えている人、一緒に学んでみませんか。

4月に着任した宮永愛子です。3月までは、金沢にいましたが、出身は兵庫県明石市です。もともとスペイン語を専門にしていたのですが、留学中に日本語を教えることに目覚め、日本語教師に転身しました。家庭では、7歳(5歳と3歳の息子)の母で、子供が言葉を感じていく過程でおもしろいなあと実感しています。皆さん、よろしく願っています。



＜宮永愛子先生＞

「何でも見てやろう」精神で日本を飛び出し、海外で働くこと8年。現地で見聞を広めることができました。外国生活を豊かにするために、好奇心が刺激される生活とはお別れだと思いましたが、それは杞憂でした。日本での同僚が言いました。日本語クラスのドアは「どこでもドアだね」。そう、日本にいても、このドアは世界に繋がっています。このドアは世界に繋がっています。このドアは世界に繋がっています。このドアは世界に繋がっています。



＜内藤真理子先生＞



＜月曜日5時限目のクラス写真。左が担当の阿部美恵子先生＞

第7回留学生WEEK開催!

6月3日(月)～6月7日(金)
留学生と一般学生の交流を深める1週間。
期間中は様々なイベントを企画しています!

- ★スピーチ発表:日本に関連したテーマで留学生がスピーチを発表
- ★Cool Japanトークショー in English
- ★お国自慢トークショー in Japanese
- ★世界の食文化体験:留学生オススメのお国自慢料理!
- ★世界の映画上映会:中国・韓国・イギリス・日本の映画を上映

日本語教育センターからのお知らせ



発行人: 関西学院大学 日本語教育センター
発行日: 2013年6月1日